



和(輪)のまちだより

発行	2020年(令和2年)10月1日
発行責任者	第四地区住民自治協議会 会長
印刷	有限会社 長野プリントサービス

2020.09.01 現在 第四地区現況 ()前年比 世帯数/令和2年度世帯数調査による
 世帯数/2,475戸(108.3%) 人口/2,745人(99.3%) 人口/長野市企画課統計資料による

☆第四地区は「諏訪町」「西後町」「梶町」「南梶町」「妻科」「新田町」の6町で構成されています☆

要避難援助者の避難を援助する 要避難援助者援助のマニュアル完成

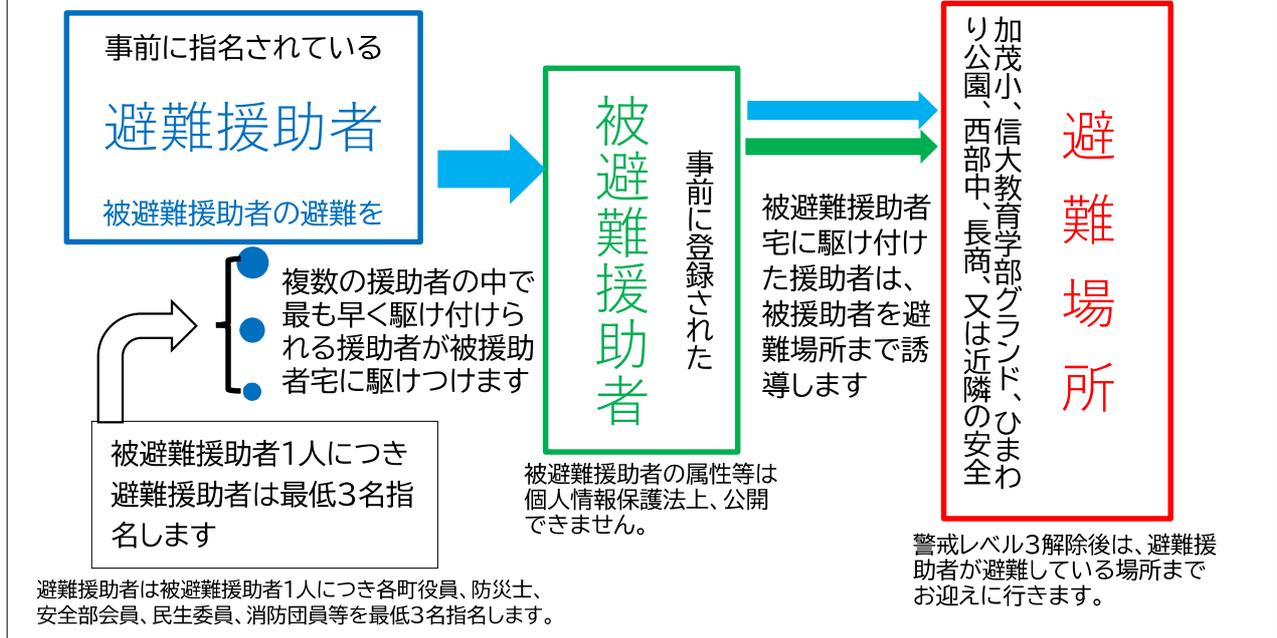
昨年(2019年)は台風19号の甚大な被害が発生し、同じ昨年には、長野市洪水ハザードマップが見直され、従来はなかった花川が想定に含まれたため、第四地区が浸水する可能性があることが判明しました。これらを防ぐことを目的とし、花川に氾濫と浸水の危険が迫ったときに、自力歩行が困難な方を避難させる方策を確立しようと、関係者間で議論を進めてきました。議論開始から約1年、その間、中断もありましたが、ようやくマニュアルと言える物が出来上がりましたので、皆さまにお伝えします。

今回作成したマニュアルは、花川が増水し、氾濫の恐れが高まり、第四地区を含まれた地域に、高齢者等の避難に時間を要する人、警戒レベル3が発令されたときに限らず、避難開始を促すものです。

今後はこのマニュアルをもとに、避難援助して欲しい人と、避難援助をする人を各町で指名し、警戒レベル3が発令された時に備えることとなります。

本紙2〜3ページでは、花川が氾濫した場合の浸水がご自宅のどの部分まで及ぶかをシミュレートするために、第四地区の各地の標高を表にしましたので、参考にして頂けると幸いです。

第四地区に「警戒レベル3(避難準備:高齢者等の避難に時間を要する人は避難開始)」が発令されたとき





裾花川を知り、裾花川に正しく向き合いましょう

第四地区の西端を流れる裾花川は、戸隠連峰の高妻山を源に、丹波島橋付近で犀川に合流する約50kmの信濃川水系の一級河川です。現在の長野市街地は、県庁付近を扇頂とした扇状地であるため、度々水害の被害を受けましたが、江戸時代に現在の県庁付近から南に流れる形に裾花川の流路変更がされました。流路変更後しばらく大きな洪水は発生しませんでした。昭和24年9月23日に九反付近で、裾花橋付近、岡田町付近の3か所の堤防が決壊し、長野駅から川合新田付近まで浸水するという洪水が発生しました。幸いなことにこの時、第四地区には被害は及びませんでした。この水害を機にダムが必要が高まり、裾花ダムが、昭和44年に完成しました。平成7年7月11日から12日にかけて、長野市周辺を豪雨が襲い、裾花ダム付近で209mmの降水があり、裾花ダムと奥裾花ダムでは流れ込む水量を調整する洪水調節機能が発揮されたため、堤防越水までには至らずに収まりました。もしこの時、2つのダムがなかったと仮定すると、県庁付近の水位は1mほど高くなり、越水した可能性がありました。その後この部分の堤防はかさ上げされたので、越水する危険性は極めて低くなりました。さて、私たちが住む第四地区は、土砂災害ハザードマップで明らかになように、土砂災害(土砂崩れ、がけ崩れ、土石流等)の危険性はほほありません。しかし、令和元年に、千年に1回発生する可能性のある降雨予想を基に作成し直された洪水ハザードマップには、裾花川が増水した場合、第四地区の殆どの場所が浸水するピンク、黄色の色が付きました。ここでは、裾花川流域に千年に1回



水面標高374m	越水箇所を保健所前と想定	保健所前の道路標高372m
----------	--------------	---------------

千年に1回の降雨とは「裾花川全流域で24時間に660mm以上の降雨」
 長野市の過去最大降水量は1時間/57mm、1日/164mm、1月/364mmです。

の豪雨が襲い、平成7年7月の豪雨の際、あと数十cmで越水の危険性があつた場所(長野保健所前付近)で越水が発生したと想定し、今お住いのご自宅がどの程度浸水するかを推算するために、第四地区各所の標高を一表にしました。裾花川の氾濫をむやみに恐れることなく、確かな情報を確認して、いざという時に備えましょう。

右ページの表は、長野県・長野市が公式に使用する株式会社パルコ作成の地図を基に作成しました。ご自宅の標高を知り、裾花川が氾濫した時の避難場所を特定する際の参考にするなどとしてご利用下さい。ただし、文中の算出式、見解等は学術的な裏付けがあるものではなく、第四地区住民自治協議会事務局が作成したものであることをご承知下さい。

越水想定場所:長野保健所前の裾花川堤防
越水箇所の標高:約372m
越水した場合の水面標高:約374m(想定値)

ご自宅の標高が374m未満の方は浸水する恐れがあります。例えば自宅の標高が368mの場合、「374m-368m=6m」が浸水予想ですが、この想定は、水位面標高は広範囲にわたって同じであり、下流に行くほど水位面標高が低くなるという水の流れを考慮していませんので、全てこれがあてはまるものではありません。

千年に1回の降雨があり、裾花川の氾濫の危険性が迫った時は、**標高380m程度の場所に避難**しましょう。ただし、2階建て以上の建物の2階は、一般的に1階より2.5m高いとされています。自宅が374m未満でも**2.5m以上高い2階以上の階に避難**すると標高が375m以上になる場合は、**2階以上に避難**することも選択肢に含みましょう。

第四地区周辺の洪水時の長野市指定避難場所と標高
加茂小学校(395m)、信大教育学部グラウンド(394m)、ひまわり公園(380m)、西部中学校(400m)、長野商業高校(390m)

第四地区の主な場所の標高

町名	地点名	標高(m)	町名	地点名	標高(m)
諏訪町	鳴子清水	375.1	妻科	裾花台遊園地前(新諏訪)	391.2
〃	旧小島病院	370.5	〃	中部勤労青少年ホーム	386.9
西後町	長野税務署	369.8	〃	すき亭販売所	384.2
〃	後町キャパ"スグランド"	369.5	〃	うるおい館	378.8
〃	西後町公民館	368.9	〃	長商グランド	389.9
〃	寿町通り	367.8	〃	日興商事ビル	371.6
県町	市立図書館前交差点	376.7	〃	信大あけぼの寮	389.7
〃	犀北館ホテル	371.5	〃	つましな保育園	390.5
〃	旧第四分館	377.8	〃	妻科公民館	381.8
〃	県土地改良会館	373.6	〃	妻科神社南側道路	379.1
〃	北野建設本社	370.5	〃	八十二銀行研修所	377.2
〃	信用保証協会	369.9	〃	〃 南側道路	374.3
〃	長野県労働金庫	370.5	〃	県庁西庁舎	372.2
南県町	県合同庁舎	369.5	新田町	もんぜんぷら座	366.4
〃	昭和通り南県町交差点	368.1	〃	NTT新田町ビル	365.8
〃	中央郵便局	366.9	〃	長野県信用組合本店	366.9
〃	徳永町通り中ほど	367.8			
〃	南県町公民館	367.7			

※標高374m未満地は青字で表記しました

このコーナーでは、第四地区にお住いで、推薦のあった「いい人さん」をご紹介します。

今回は、妻科にお住いの寺島安子さん(69)をご紹介します。

寺島さんは今から20年前、八幡川の堤に初めて菊を植え、その後、妻科の皆さんを中心に「白岩の会」ができ、この周辺を花で一杯にする活動を始めましたが、数年前に同会は解散しましたが、寺島さんはこの会の意思を引き継いで、今日まで一人で花を育てる活動を続けています。

現在は、白岩の会の活動を引き継いだ形のポタジエガーデンも整備され、この付近を訪れる人も増えてきました。

「毎日の水やりは苦勞ですが、花を楽しむにしてくれている人が喜ぶのを見ると苦勞も吹き飛びます。」とこやかにお話ししてくれる寺島さんです。

しかし最近、花が綺麗に咲く頃になると、何者かが花を切り取って持ち去ることが頻発しました。悲しんでいる寺島さんの姿を見た近所の方が「花をとらないで」の看板を立ててくれるなど、多くの方に支えられているそうです。

散歩がてらに寺島さんの花を見に行ってみませんか？

場所は、県庁西側の裾花側の堤を上流に300m程行った所です。

【第四地区にお住いの、いい人だな、と思う方の情報がありましたら、事務局までご連絡下さい！】

第四地区のいい人さん 紹介コーナー



写真①
花の手入れをする寺島さん

写真②
近所の方が立ててくれた看板

写真3
丹精込めて育てられている花々



裾花川マレットゴルフ場計画 県に対しての申請終了

前号(令和2年6月号)でお知らせしました「裾花河畔にマレットゴルフ場を造る計画」の、現在の進捗状況をお知らせします。

裾花川のような一級河川の河川敷は国の管理下に置かれ、国に代わって県が管理しています。一級河川の河川敷を公共団体ではない住民自治協議会のような者が借り受けるためには、管理者である県に対して、第四地区住民自治協議会という団体が、永続的に維持・管理ができるかを見極めるため等の膨大な書類を提出し、審査を経て、許可を受けなければなりません。このための書類の準備等を着々と進め、全ての書類が整ったため、8月下旬、県に正式申請を致しました。認可は年内にも下りると思われま

す。河川敷を借り受けるということは、借り受けた場所の全てを、借り受け人が県に代わって整備、管理する義務が生じます。今回、借り受ける面積は約4500㎡と広大なものなので、この広大なところを永続的に維持・管理していくためには、住民の皆さまの絶大なご協力を頂かなければなりません。そのために、維持管理団体でもある「第四地区MG愛好会(仮称)」を設立し、マレットゴルフをこよなく愛する方、これからやってみようかな、という地域の皆さまに入会頂き、会員の皆さまの協力で維持・管理をして参らなければなりません。会員の皆さまの草刈りなどの環境美化事業に対する県からの補助金を運営資金とし、住自協・区からの資金援助がなくても運営できる仕組みを目指します。

借り受け初年度は、数ホールのコースを整備し、利用人員、維持・管理の状態等を見極めたうえで、段階的にホール数を増加させ、最終的には18ホールのコースを造る計画です。

この事業をスムーズに進めるためには、何と言っても住民の皆さまの協力が必要です。

裾花川河川敷で伸び伸びとマレットゴルフを楽しみながら美化活動を行うというこの事業にご賛同頂き、絶大なるご協力をお願い申し上げます。

なお、詳細は決まり次第、地域の皆さまにお伝えして参りますので、今後の情報にご期待下さい。

第四地区住民自治協議会 会長 横田 悦二郎

今年度の第四地区住民自治協議会事業中止について

今年に入ってから、新型コロナウイルスの感染が広まり、当住自協においても、各種事業が中止されています。今年度予定していた住民の皆さまを対象にした事業で、中止されたものは左記のとおりです。

- 安全・環境施設見学会
- 健康体操妻科教室
- パタンク大会
- いきいき交流会

毎年楽しみにしていた皆さまには申し訳なく存じますが、万が一のことを考えてやむなく中止とさせて頂きました。

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかるとの目的が付いた時には、全ての事業を再開する予定です。

それまでの間、コロナウイルスに負けずに、元気にお会いできることを楽しみにしています。

訂正とお詫び

前号(2020年6月号)2ページ「令和2年度第四地区住民自治協議会評議委員等名簿」の【総務部会】に『仁科 秀雄様(南県町区長)』の記入を漏らしてしまいました。訂正するとともに、関係の皆さまにご迷惑をおかけ致しましたことを深くお詫び申し上げます。